

# 国際金融都市OSAKA 戦略骨子

---

2021年9月9日

国際金融都市OSAKA 推進委員会

# 戦略の構成

---

## I とりまとめにあたって

1. 戦略策定の趣旨
2. 世界の潮流と日本の状況
3. 戦略策定にあたり重視すべき視点

## II 大阪のめざす国際金融都市像

## III 戦略の柱と重点取組み

## IV 戦略の実行にあたって

1. 戦略目標
2. 戦略の取組期間
3. 戦略の推進体制※

## V 国際金融都市実現の効果※

## VI 結び・今後の展望※

※本戦略骨子では記載しない

# I 1. 戦略策定の趣旨

---

- ◆世界の金融情勢が大きく変化し、税制改正や規制対応など、国際金融都市の実現に向けた国の動きが本格化する中で、我が国の成長力を高めていくためには、国際競争力を有する複数の金融都市が必要である。
- ◆大阪を国際金融都市とすることは、危機事象発生時における金融面での日本のレジリエンスを強化する重要な取り組みでもある。
- ◆さらに、「経済の血液」とも言われる金融機能の強化を図ることは、ポストコロナに向けた大阪・関西経済の再生を図るための新たな成長の柱となり、ひいては、日本の経済発展にも資するものとなる。
- ◆こうしたことから、独自の個性・機能を持つ国際金融都市を形成し、東西二極の一極としての大阪のさらなる飛躍につなげていくため、戦略を策定する。

# I 2. 世界の潮流と日本の状況

---

- ◆国際金融拠点は主要金融機関が拠点を構え、近年では、フィンテック企業の集積等も構成要素になるなど、多様な金融主体が活動する拠点に変化。ビジネス機会(投資先)と顧客(資産の保有者)が存在する都市に、金融機関や投資家等が集積する傾向にある。
- ◆また、グローバルな金融業の環境に変化が生じており、資産運用会社の規模が巨大化、投資ファンド等の数も増加。
- ◆近年、香港国家安全維持法の成立や大湾区構想による中国との関係強化、英国のEU離脱といった政治情勢の変化等、世界の国際金融都市にビジネス環境に影響を与える動きがある。
- ◆さらに、企業が従業員や取引先、顧客、地域社会、株主といった多様なステークホルダーの利益に配慮すべきという考え方へのシフトがみられ、SDGsの達成につながるサステナブルファイナンスの拡大も進んでいる。

# I 2. 世界の潮流と日本の状況

## 【参考】国際金融センター都市ランキング

○2021年3月の国際金融センター都市ランキングでは、東京は7位、大阪は32位。

○大阪は、「ローカル」な国際金融都市との評価。

	2019年9月	2020年3月	2020年9月	2021年3月
1位	ニューヨーク	ニューヨーク	ニューヨーク	ニューヨーク
2位	ロンドン	ロンドン	ロンドン	ロンドン
3位	香港	東京	上海	上海
4位	シンガポール	上海	東京	香港
5位	上海	シンガポール	香港	シンガポール
6位	東京	香港	シンガポール	北京
7位	北京	北京	北京	東京
8位	ドバイ	サンフランシスコ	サンフランシスコ	深圳
9位	深圳	ジュネーブ	深圳	フランクフルト
10位	シドニー	ロサンゼルス	チューリッヒ	チューリッヒ
11位	トロント	深圳	ロサンゼルス	バンクーバー
12位	サンフランシスコ	ドバイ	ルクセンブルク	サンフランシスコ
13位	ロサンゼルス	フランクフルト	エジンバラ	ロサンゼルス
14位	チューリッヒ	チューリッヒ	ジュネーブ	ワシントンDC
15位	フランクフルト	パリ	ボストン	シカゴ
16位	シカゴ	シカゴ	フランクフルト	ソウル
～	大阪 (27位)	大阪 (59位)	大阪 (39位)	大阪 (32位)

## <アジア・パシフィック地域のランキング>

	2021年3月
1位	上海
2位	香港
3位	シンガポール
4位	北京
5位	東京
6位	深圳
7位	ソウル
8位	シドニー
9位	広州
10位	メルボルン
11位	大阪

出典：英シンクタンクZ/Yen調査より作成

# I 3. 戦略策定にあたり重視すべき視点

---

- ◆国際金融都市は、地域の発展のためにめざすものであり、その実現により経済の発展をめざす地域のビジョン・戦略の具現化に寄与し、もって、府民の利益・幸福につながるもの。 **【地域の発展の視点】**
- ◆また、個々の取組みも含め、持続可能でよりよい社会の実現をめざす全世界共通の目標であるSDGs (Sustainable Development Goals) の達成に資するものとすべき。 **【SDGsの視点】**
- ◆戦略の策定にあたっては、上記の目的・意義や、めざす都市像を共有したうえで、その実現に向けた取組みについて **明快なコンセプト・ストーリー**を示していく。
- ◆めざす都市像や導入すべき機能の検討にあたり、まずは大阪の現状を精査し、優位性・不足している点や将来の可能性などの環境分析を行った。

# I 3. 戦略策定にあたり重視すべき視点

## 環境分析 ～めざす都市像・取組み検討にあたっての強み・弱み・機会・脅威～

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p><b>【事業環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治的安定、治安のよさ</li> <li>・うめきた2期や中之島未来医療拠点等新たなイノベーション創出拠点</li> <li>・ライフサイエンス分野などグローバル企業の集積</li> <li>・大企業を支える強靱な中小サプライヤー等産業の集積</li> <li>・インバウンドによる経済活性化</li> </ul> <p><b>【人的資本】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西の高等教育機関・研究機関の集積</li> <li>・「やってみなはれ」精神、大阪人気質</li> <li>・食文化など住みやすく魅力のある町</li> </ul> <p><b>【インフラ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道網、国際港湾、関西三空港等整備された交通インフラ</li> <li>・割安な不動産 ・人口規模</li> </ul> <p><b>【金融セクター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの取引所の存在、新たなPTSの設置 ・豊富な個人金融資産</li> </ul> <p><b>【評判】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デリバティブ発祥の地</li> <li>・関西一体での魅力的な観光地としての評価</li> <li>・アジアとの近接性</li> </ul>	<p><b>【事業環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業本社、資金、情報などの東京集中・流出</li> <li>・投資対象となるスタートアップの不足</li> <li>・起業から成長過程のファイナンス支援体制の不足</li> <li>・技術力を持った中小企業の事業承継の遅れ</li> <li>・行政DXの遅れ</li> </ul> <p><b>【人的資本】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度金融人材・テクノロジー人材の不足</li> <li>・格付機関、弁護士等金融市場に関わる専門機関・人材の不足</li> <li>・起業マインド・グローバル意識の不足</li> <li>・金融リテラシー教育の不足</li> </ul> <p><b>【インフラ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、学校、生活施設等住環境の多言語化対応（災害時を含む）</li> <li>・少子高齢化</li> </ul> <p><b>【金融セクター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引所での取引時間や日数が少ない</li> <li>・フィンテック企業の不足</li> </ul> <p><b>【評判】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際金融都市ランキングの低さ</li> <li>・国際的知名度の低さ、対外的アピール不足</li> </ul>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年大阪・関西万博のインパクト</li> <li>・スタートアップエコシステム「グローバル拠点都市」指定</li> <li>・BCPの観点による東京一極集中解消に向けた機運の高まり</li> <li>・デジタル化やリモート文化の進展</li> <li>・レジリエンス向上に向けたデータセンター等の設備投資の機運</li> <li>・世界的なESG投資の流れの加速</li> <li>・フィンテックを活用した金融サービスの広がり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規制、税制</li> <li>・日本進出時の各種手続きの困難さ、煩雑さ</li> <li>・自然災害、気候変動やテロのリスク</li> <li>・データセンター立地の偏在</li> <li>・海外の金融先進都市での富裕層の取り込み</li> <li>・非上場企業の資金調達場が少ない</li> <li>・株式の流動性の低さ</li> </ul>

※強み・弱みについては、民間シンクタンクが毎年発表する「国際金融センター指数(GFCI)」の評価基準となる5つの分野（事業環境、人的資本、インフラ、金融セクターの発展、評判）で分類した。

# I 3. 戦略策定にあたり重視すべき視点

環境分析を踏まえ、

- ◆常に世界を意識して大阪の強みや機会等を活かし、他都市、特に地理的近接性のある成長著しいアジアとの連携により相乗効果を生み出し、世界のハブとなって人材・資金・情報を集めること【アジア／グローバルの視点】
- ◆国際金融に関する現在の国際的な評価を踏まえ、大阪の特性を生かしたエッジの効いた取組みにより独自の個性・機能を備えるとともに、国内一極集中のリスクを回避し、日本のレジリエンスを向上する役割を果たすこと【差別化・補完性の視点】  
を重視してめざす都市像を設定する。

また、具体的な取組みにあたっては、

- ◆世界の潮流であり、フィンテックなど金融と親和性が高く、新たな成長の原動力となるデジタル化の視点
- ◆関西各地域の個性や強み、歴史や文化を活かす関西広域の視点  
を踏まえて取組みを展開していく。



# 【参考】重視すべき視点



## 戦略全体の視点

### ◆明快なコンセプトづくり

国際金融都市の定義や要件はないため、めざす都市像を共有したうえで、その実現に向けた取組みについて明快なコンセプト・ストーリーを示す視点

### ◆地域の発展

経済活動の潤滑油であり、地域社会や経済活動と密接な関係にある金融の力を活用して、地域の成長発展、ひいては住民の利益・幸福にもつなげるという視点

### ◆SDGs

大阪を国際金融都市にしていくための個々の取組みがSDGs達成にもつながるという視点

## めざす都市像につながる視点

### ◆アジア／グローバル

金融をはじめビジネスは国境を越えてグローバルに展開されており、常に世界を意識して国際競争力を持ちながら、他都市との連携によりアジア・世界のハブとなって人材、資金、情報を集め、相乗効果を生み出す視点

### ◆他都市・他地域との差別化・補完性

大阪・関西が選ばれる地域になるため、大阪の強みや機会を活かし革新的でエッジの効いた取組みなどによる差別化を図るとともに、レジリエンス向上による日本の国際的地位を高めるため、補完性を備える視点

## 具体的取組みにつながる視点

### ◆デジタル化

世界的なデジタル化の潮流を踏まえ、特にデジタルと親和性の高い金融分野においてフィンテックなどの新しい技術を取り入れていく視点

### ◆関西広域

異なる特色を持つ都市が集積し、多彩な魅力を有する関西の特徴を生かし、その総合力を発揮して国際的に存在感を示す視点

## Ⅱ 大阪のめざす国際金融都市像

- ◆国際金融都市実現のために重視すべき視点（アジア／グローバルの視点、差別化・補完性の視点）を踏まえ、2つの都市像を掲げて取り組む

アジア・世界の活力を呼び込み「金融をテコに発展するグローバル都市」

### ◆基本的考え方

- ・地域の発展のため、大阪・関西万博などを契機としたまちづくり・イノベーション推進やスタートアップの成長に向け、国内外から投資が流入・循環することが必要。
- ・また、自然災害等を見据えた補完的役割を通じた金融のレジリエンス（強靱化）向上のほか、金融リテラシー向上などを通じた国内市場の活性化が必要。

### ◆めざす姿の具体的なイメージ

- ・金融面からスタートアップの成長を支援するエコシステムの拠点
- ・フィンテック企業の集積する都市
- ・日本の金融機能におけるレジリエント（強靱）な都市
- ・金融リテラシーが高く投資が活発な都市

## Ⅱ 大阪のめざす国際金融都市像

### 先駆けた取組みで世界に挑戦する「金融のフロントランナー都市」

#### ◆基本的考え方

- ・金融において大阪・関西らしいエッジの効いた取組みを通じ、企業や人を惹きつける求心力を高めることが重要。
- ・デリバティブやサステナブルファイナンスなどにおける先駆けた取組みや金融サービスにおいてこれまでになかった取組みが展開される必要がある。

#### ◆めざす姿の具体的なイメージ

- ・エッジの効いた金融商品の開発によるアジアにおける先駆的なデリバティブの拠点
- ・サステナブルファイナンスの先進的な取組みが行われる都市
- ・革新的な金融社会実験・実装が可能となる都市

# Ⅲ 戦略の柱と重点取組み

## ◆めざす都市像実現に向けた戦略の柱と重点取組み

1 金融をテコに発展するグローバル都市	2 金融のフロントランナー都市
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進</li> <li>(2)スタートアップおよび地域活性化のための多様な資金調達の支援</li> <li>(3)レジリエンス向上の観点による拠点機能の強化</li> <li>(4)国内の金融市場の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成</li> <li>(2)サステナブルファイナンス先進都市に向けた取組み</li> <li>(3)金融サービスに関する規制の見直しに向けた働きかけ</li> <li>(4)金融分野における高度人材の育成</li> </ul>
<b>【共通する取組み】</b> (1)外国人にとっても魅力的な住環境の整備 (2)国内外から企業・人を惹きつけるビジネス環境の整備 (3)情報発信・プロモーション (4)海外との連携 (5)大阪府市による先駆けたインパクトのある取組み	

## ◆上記、戦略の柱と重点取組みを「育む」「呼び込む」「支える」の3つのアプローチ軸で整理

「育む」:自らの魅力を高めていく 「呼び込む」:国内外他地域から呼び込んできた 「支える」:「育む」、「呼び込む」ための基盤整備  
 ※今後、取組みを検討する際に、柱立て、実施主体、時間軸などについて整理・精査。

	1 金融をテコに発展するグローバル都市	2 金融のフロントランナー都市	1 2 共通
育む	(1)魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進	(1)エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成	(5)大阪府市による先駆的なインパクトのある取組み
呼び込む	(2)スタートアップおよび地域活性化のための多様な資金調達の支援	(4)金融分野における高度人材の育成	
		(2)サステナブルファイナンス先進都市に向けた取組み	(4)海外との連携 (3)情報発信・プロモーション (2)国内外から企業・人を惹きつけるビジネス環境の整備
支える	(3)レジリエンス向上の観点による拠点機能の強化 (4)国内の金融市場の活性化	(3)金融サービスに関する規制の見直しに向けた働きかけ	(1)外国人にとっても魅力的な住環境の整備

# Ⅲ 戦略の柱と重点取組み

## アジア・世界の活力を呼び込み「金融をテコに発展するグローバル都市」

※記載内容は重点取組みの例(イメージ)であり、実現可能性や効果等をふまえて今後検討していく。

### (1) 魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進

【育む】

- ・万博を契機とした社会実験・実装プロジェクトへ国内外から資金が流入する仕組みづくり<民間・自治体・経済界>

### (2) スタートアップおよび地域活性化のための多様な資金調達の支援

【育む・呼び込む】

- ・スタートアップに対するさらなる投資促進に向けた支援 <民間・自治体・経済界>
- ・STO(※)など新たな手法を活用した資金調達の促進に向けた取組み<民間・自治体・経済界>  
※ STO:ブロックチェーン等の電子的手段を用いて発行する有価証券等である「セキュリティトークン」により資金調達するスキーム

### (3) レジリエンス向上の観点による拠点機能の強化

【支える】

- ・金融機関によるBCP・デュアルオペレーション拠点の設置・機能拡充及び支援<民間・自治体・経済界>
- ・データセンターやミドル・バックオフィスの集積に向けた取組み<民間・自治体・経済界>

### (4) 国内の金融市場の活性化

【支える】

- ・金融商品に係る所得課税の損益通算範囲の拡大等(デリバティブ取引の追加)に向けた働きかけ<民間・自治体・経済界>
- ・長期的視点で資産を育てる投資マインドの醸成・金融リテラシー向上につながる取組み<民間・自治体・経済界>

※【】に各戦略の柱の3つのアプローチ軸(「育む」「呼び込む」「支える」)を記載  
<>に想定される主体(「民間」「自治体」「経済界」)を記載

# Ⅲ 戦略の柱と重点取組み

## 先駆けた取組みで世界に挑戦する「金融のフロントランナー都市」

※記載内容は重点取組みの例(イメージ)であり、実現可能性や効果等をふまえて今後検討していく。

### (1) エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成

【育む】

- ・アジア随一のデリバティブ市場に向けた先駆的な商品群の展開<民間>

### (2) サステナブルファイナンス先進都市に向けた取組み

【呼び込む・支える】

- ・企業におけるSDGs債(ソーシャルボンド・グリーンボンド等)の発行促進<民間・自治体・経済界>
- ・サステナブルファイナンスの情報プラットフォーム・国際基準に準拠した認証ラベリング制度等の検討<民間・自治体>

### (3) 金融サービスに関する規制の見直しに向けた働きかけ

【支える】

- ・国家戦略特区やレギュラトリー・サンドボックス(※)等の活用を通じた規制の見直しや私設取引所(PTS)に係る規制緩和等に向けた働きかけ<民間・自治体・経済界>
- ※ レギュラトリー・サンドボックス:新しい技術やビジネスモデルの社会実装に向け実証を行い、得られた情報やデータを用いて規制の見直しに繋げていく制度

### (4) 金融分野における高度人材の育成

【育む】

- ・高等教育等における金融・起業・最新テクノロジー等に関する人材育成<民間・自治体>

※【】に各戦略の柱の3つのアプローチ軸(「育む」「呼び込む」「支える」)を記載  
<>に想定される主体(「民間」「自治体」「経済界」)を記載

# Ⅲ 戦略の柱と重点取組み

## 共通する取組み

※記載内容は重点取組みの例(イメージ)であり、実現可能性や効果等をふまえて今後検討していく。

### (1) 外国人にとっても魅力的な住環境の整備

【支える】

- ・教育・医療等における環境整備 <自治体>
- ・多言語対応ホームページによる情報発信や金融庁と連携した各種手続支援のための英語対応ワンストップ窓口の設置 <自治体>

### (2) 国内外から企業・人を惹きつけるビジネス環境の整備

【呼び込む】

- ・高度外国人材などの受入の推進に向けた取組み <自治体・経済界>
- ・日本国際紛争解決センター(大阪)と連携した国際紛争の仲裁地・審問地としての情報発信 <自治体>

### (3) 情報発信・プロモーション

【呼び込む】

- ・在外公館・政府系機関・自治体事務所や民間ネットワークなどを活用した戦略的なPR活動 <民間・自治体・経済界>
- ・(再掲) 多言語対応ホームページによる情報発信 <自治体>

### (4) 海外との連携

【呼び込む】

- ・めざす国際金融都市像の実現に向けた連携先の検討 <民間・経済界>

### (5) 大阪府市による先駆けたインパクトのある取組み

【育む・呼び込む】

- ・(再掲) 金融庁と連携した各種手続支援のための英語対応ワンストップ窓口の設置 <自治体>
- ・金融リテラシーや金融業界に精通した人材の配置 <自治体>

※【】に各戦略の柱の3つのアプローチ軸(「育む」「呼び込む」「支える」)を記載  
<>に想定される主体(「民間」「自治体」「経済界」)を記載

# IV 戦略目標・戦略の取組期間

---

## 1 戦略目標

- ◆戦略目標は、めざす都市像の達成度合いを計測可能な指標や重点取組みごとのKPI（重要業績評価指標）について、年度末の戦略策定に向け検討していく。  
（都市別で把握できるもので、かつ、他都市と比較できるものがふさわしい。）

## 2 戦略の取組期間

- ◆世界の国際金融都市は、長い金融の歴史がバックグラウンドにあるため、国際金融都市の実現には長期間の取組みが必要。
- ◆最終年度（2050年 世界/日本：カーボンニュートラル目標年度）を見据えて、短期（2025年大阪・関西万博まで）、中期（2030年）の期間を設定し、都度レビューして、その時の情勢を計画に反映する。